



日本から雪合戦・雪だるま マレーシアからオランウータン

マレーシアと日本の子どもたちが、互いの自然体験を伝え合うイベント「世界子ども自然クラブ」が9日、北杜市高根町の清里高原で始まった。約5500*。離れた両国で、計43人が2泊3日の合宿をし、それぞれの体験をインターネットを通じて紹介し合う。

財団法人キープ協会のキープ・フォレストーズ・スクールの、初めての企画。初日の9日、日本の子ども

子ども、ネット交流

北杜

もたちはマレーシアの子どもたちに雪遊びを伝えたいと、雪合戦や雪だるま作りをして=写真=、その様子を映像と音声で発信した。マレーシアからは、オランウータンや熱帯林の様子が伝えられた。10日も、写真やブログを通じて交流をする予定。同市長坂町から来た堀内涼汰君(10)は「マレーシアの子どもたちに雪の味やにおいを伝えて驚かせたい」と話していた。